

パブコメ集計結果(戦略創造)

1. 総数: 154件

2. 賛否について:

○賛成:	144件
○賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの:	9件
○反対:	1件
計	153件

(賛否の考え方)

- ・主旨に賛成の文意を含むものは全て賛成に判定。
- ・「賛成だが施策の改善見直しの意見のあるもの」は基本的には賛成だが、施策の実施にあたっての改善、見直し方策について記述されているものを集計。

(参考)

①賛成

- ・優れた研究成果を持つ若手研究者の研究支援における戦略的創造研究事業の果たす役割は非常に大きい。
- ・予算をしっかりと補填して頂くと同時に、長期的に研究者をいかに育成、確保してゆくか時間をかけて議論してほしい。
- ・科学研究費の充実、教育費の充実と合わせ、21 世紀における資源小国日本の存亡に関わる重要課題である。特に若手研究者の育成をおろそかにし、我が国の未来を危うくする可能性の非常に高い今回の評価結果の撤回と、さらなる科学研究費の充実を強く要求する。

②賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの

- ・分野をよく知らない非専門家によって研究テーマの設定がなされるために無駄が多い。制度や推進体制を抜本的に改革すべきである。
- ・全般的に、研究費に対する制限が強すぎである。このような基礎的研究に関する事業については、その効果は単純に当初の研究目的の研究活動だけに制限されない。人材育成などの効果もあり、それらを含めて広い視点から投資を行うべきである。
- ・研究予算を使い切らずに国庫に返納することに対して、プラスのインセンティブを導入するべきである。
- ・一般的に JST 管轄の事業は、研究者の間で評判が悪い。選考のプロセスが甘く、ボ

ス支配の研究費分配であるとの印象を多くの研究者が抱いている。これは JSPS の選考プロセスが極めて透明で、公平さ実現のために多くの努力が費やされているのと対照的である。このようなトップダウンの研究費配分はなるべく少なくして、JSPS のボトムアップ式の公平で信頼すべき審査システムを採用している研究費に振り替えるべきである。

③反対

- ・ 戦略的創造研究推進事業は廃止し、予算を縮減した上で科研費補助金と統合すべきである。